

第1回長崎便教会



○深堀中学校 教諭

日頃から掃除は好きで、教室などの放課後掃除をし、生徒にも「掃除をできる人になれ」と言っていたが、自分がまだまだ甘いことを知れてよかった。今までやってきたことは「始まり」にもなっていなかったもので、今日のこの経験を「始まり」にして、今の学校はもちろんだが、これからの教育活動にいかしていくようにしたい。1つのことをやりきることで次が見えてくるし、1つのことをやりきるための工夫をする大切さ、1つのことをやり切れなかった時の悔しさなど、1回の体験で、多くのことに気づくことができ本当によかった。

何からやっていくかを考える前に、来週からとりあえず自分がやっていけることから1つ1つやっていくようにする。言葉で伝えることができない部分を、私がやっている姿を見て伝えることができるようにしたい。西浦上中や他の学校の生徒が感じていたことを、深堀中の生徒たちにも感じてもらい、1つのきっかけとなるような体験を一緒にやっていくようにしたい。

今日は掃除のその先の大切なものに気づかせていただき、本当にありがとうございました。また、次も参加させていただきたいと思います。

○岩屋中学校 教諭

本日は貴重な体験（便教会）ありがとうございました。たかが便所掃除、されど便所掃除。わずか2時間弱の活動・体験で多くの気づき・発見と、やった人だけがわかる達成感を味わい、爽快感などの光景を見ることができました。

まず今回、1つの小便器を担当させていただきましたが、日常生活の中で使用する小便器を見る角度を変えるだけで、日頃気づかない汚れを発見したことに小さな感動がありました。小便器の汚れがどんどん落ちていくと、素手で便器の中を触ること、便器の中に顔を突っ込み、のぞき上げることも当然のごとくできる現象・自分の変化に驚きもありました。そして、みんなで1つのトイレをきれいに磨き上げ、その成果を目の当たりにしたときは、とてもすがすがしい、いい気持ちになり、心もきれいと感じることができました。今後もこの体験を糧とし、日々の生活の中で心のすさみを除去し、小さな気づき、小さな感動を大切にできるよう努力していきたいと思えます。

感謝！！



○川平小学校 教諭

DVD「掃除の道」鑑賞

永田先生、ここまで企画・準備ありがとうございました。大阪、京都など、他県でトイレ掃除をしたことはありましたが、今回、地元でできるということで、とても嬉しかったです。何よりも、これだけの人が長崎で集まり、活動できたことがうれしかったです。今日参加された方がロコミをしてくれて、多くの方がトイレ掃除と向き合うことができたらいいなと思います。今回は、初のサブリーダーということで、わからないことが多く、サブリーダーとしての動きができなかったのではないかと反省しています。広い視野で動かなければいけないと思うので、そのためには、いろいろなことを知っておかねばいけないと思いました。その点で、今の職場のポジションと重なり、自分を振り返ることができました。多くのことを知って、全体を動きやすいように自分から動かなければいけないと思いました。

今後は、細く長く続けるにあたり、会場・道具の課題が出てくるかなと思います。また、トイレ掃除をさせていただくために、そのお膳立てが大変だと思うので、そこが課題と思います。がんばりましょう。お疲れ様でした。今後ともよろしく願います。

○西浦上中学校 教諭

まず、掃除の仕方のDVDから道具の管理や使い方まで、いろんなところで小さな気づきを感じた。スポンジの使い方一つにしても、タテでもヨコでもいい気がするし、実際問題ないように感じるが、そのスポンジを最大限生かすという意味で奥深く感じた。日常生活や仕事の中でも、いろいろと考えさせられる部分が見えてきた。



実際の掃除では手袋や長靴もはかずに

やり始めたが、最初は少し抵抗があった。

自己紹介の風景

しかし、やっていくうちに無心になり、気づけばひざをつき、手をつき、一生懸命に汚れを落としていた自分がいた。

自分が子どもたちの手本となり、言葉や文字だけでなく行動で示していきたい。今回は、このような貴重な機会を作ってくださりありがとうございます。自分の気持ちとしては、今回の1回だけではまだまだ気づけず、もやもやとするところがあるので、少しずつ継続しながら、もっと気づいていきたいと思います。

○長崎日大高等学校2年生

やればやるほど、磨けば磨くほどきれいになっていくのが実感することができました。とても有意義な時間だったと思いました。“見返りを求めない”と思っていましたが、見返りはありました。そこに広がる景色が自分にとって、自分がやってきたものの結果だと感じました。やればやるほどまだしたい！！ホントに自分が洗われたのがわかりました。トイレ掃除って不思議なものだと思います。

永田先生～！また西中の新しいメインイベントができましたね！！「各クラス対抗トイレ掃除大会」的なのがww。“トイレを磨いて、人も磨く”“たかが掃除、されど掃除”。

○西浦上中学校3年生

今回、トイレを掃除してみて、まず最初に驚いたのは、トイレの臭いの原因が、尿石だったということです。今までは大便の臭いが原因と思っていたので、みずこしを取った瞬間に、硫黄のような臭いがした時は「こいつが原因だったのか！」と度肝を抜かれました。掃除では、換気扇を担当して、最初はほこり

が落ちてくるのが嫌だったけど、していくうちにどんどんゴミが出てきて「これが何で入っているの？」と不思議で思わず笑ってしまうようなものができて、なんだか宝探しをしているようでした。しまいには、五円玉まで出てきて「これは、トイレが自分にご縁を運んでくれたんだな」と、まるでトイレの神様に出会えたような気分でした。最初は、素足で歩くことや素手でゴミを取るの嫌だったトイレ掃除も、素足で歩いて何とも思わず、ここで寝てもいいぞと思うまでトイレに愛着を持つことができ、掃除をしたことによって、そのものに対する愛着が高まるんだと感じました。また、脚立の上から作業をしていたので、ほかの人が見え、「ここにも汚れがたまっている」と、どんどんゴミや汚れを見つけられて、様々な視点から物事を見ることによって新しい発見が生まれることを学びました。



○西浦上中学校3年生

今日は便教会に参加できて本当に良かったです。私は流し場を掃除したけど、とれそうでとれない汚れがたくさんありました。ある場所を掃除すれば、また別の場所の汚れが見えて、どんどん掃除をしてしまいます。最初は、排水溝のぬめりがいやだったけど、それも「いや」から「とりたい」って気持ちに変わっていったし、時間はどんどん過ぎていくから「もっとしたいな」と最後は思いました。便教会に参加していない人から見ると「そんなところに手を突っ込むの？」と思われるかも知れません。実際、私も最初はそう思いました。だけど、掃除をしていくと、手を突っ込むのが当たり前になったりします。自分の掃除区域は教室だけど、今回教えていただいたこと、学んだことを生かせると思います。だから、掃除の時には積極的に取り組んでいきたいです。また、家でも掃除をしたいなと思いました。今日は本当にありがとうございました。

○西浦上中学校3年生

今日の便教会ではみずこしを担当しました。みずこしはたくさん尿石がついていて、たわしでこすただけではぜんぜんとれません。マイナスドライバーを使ってはがすように尿石を取っていると、尿石を取ることだけでなく流し台の汚れなどにも気づくことができました。このように、1つのことについて取り組んでいると、それに関係している他の何かに気づくのは、掃除だけでなく勉強・遊び・運動すべてにいえるものだと思います。だからこそ、これからはすべてにおいてたくさんの方に自分で気づいて、その気づきを1つずつ改善していき、より人間力が高い人になれるように努力していこうと思いました。また機会があったら掃除したいと思いました。



○西浦上中学校3年生

「視点を変えることの大切さ」が何事にも大切だとわかった。美化部の委員長として、日頃しっかり掃除をするように言っているけれど、何もできてはいなかったと思い知らされた。尿石をドライバーでいくら叩いてもこすってもダメだった。だから自分はどうしたら尿石がとれるのかをずっと考えていた。でたらめにこするのではなく、ゆっくりでもいいから1回1回力を込めてけずり出したらいいと分かった。そのほかにも角度を変えたらいいとか、協力してけずったらいいとか…いろいろわかった。トイレ掃除を40分ぐらいした時にあることに気づけた。「学校が汚い」と。西中には、割れたドア、さびた水道、散乱しているホース、この他多くのことに気づいた。我々美化部がしなければならぬことがたくさんある。いや、美化部のすべきことは終わりのないことなのかもしれない。美化部も自分も、決して1つのことにとらわれず、視点を変えて、気付ける者になりたいです。

○西浦上中学校3年生

今回1時間半近く、トイレという普段なかなか掃除をしようと思わないような場所を掃除してみて、最初は裸足で入ることや素手で磨くことにすごく抵抗があったけど、最後にはトイレという感覚もないぐらい、みんなできれいにできたのでよかったです。中々とれないよごれもあったけど、様々な道具を使ったり、いろいろな角度から磨いてみたりすると、もっと磨きたくなるぐらいきれいになったので嬉しかったです。

掃除場所を自分の心の中だと思って磨いていると、どんどんきれいになっていったので、終わったころには磨いた分だけ自分の心も磨かれたのかなと思い、本当に少しだけ成長できたと思えました。普段の掃除から、時間は短いけど、きれいになるまで一生懸命しようと思いました。

○西浦上中学校3年生

今日は来るか迷っていたんですが、来てよかったですと思います。むしろ、来なければ後悔したぐらいだと思います。今までこんな勉強会・便教会をしたことがなかったので、すごく新鮮な気持ちでした。最初は、素足で入っていくのを見て、「ん？…え？…うそやろ。むりむりむり〜。」って思っていました。でも、いざ入ってみると、「あ、大丈夫だな…。」って思いました（男子トイレに入る時点で「え？」って思っていたんですけどね…笑）。もし1年生・2年生の時に、便教会があっていたら、きっと行ってなかったと思います。きたない。くさい。めんどい。きっとマイナス発言が多かったと思います。だから、3年生で便教会があつて良かったと思います。今まで、いろいろなことがあって、いろんな意味で変わりたいと思ったんです。だから、今日の便教会で、自分を見直す良い機会ができて良かったと思います。新しい自分を見つけることができたと思います。これからの学校生活では、少しずつでも、女子トイレをきれいにしていけたらいいなと思います。「掃除の道」のDVDのように、朝早く学校に行つて、ちょこっとずつでも掃除をしたいと思います。今日は、本当にいろいろなことを学び、考え、気付けたと思えました。そして、とても楽しかったです。本当にありがとうございました。

○西浦上中学校3年生

今回長崎便教会に参加しましたが、自分は途中からの参加で、来た瞬間に一番手ごわい相手（みずこし）との勝負でした。最初「えっまじ…」と思ったんですけど、やっていくうちにトイレの物ではないように思えてきて、自分でもびっくりしました。近くで練習をしているテニス部の部員の人から「何をしているの」と聞かれたので「トイレを掃除しているんだよ」と言ったら「うえ〜

きたね～」と言われました。自分はその時、とても悔しかったです。でもトイレ掃除の人たちが毎日、今日のような作業を行えば、トイレがきれいになり、トイレがきれいになれば学校がきれいになり、学校がきれいになれば地域がきれいになり、地域がきれいになれば長崎県がきれいになり、長崎県がきれいになれば日本がきれいになる。このように1つのトイレをきれいにすることによって、町・市・県・国というように日本全体がきれいになると思った。今日は西中の生徒7人しか来ることができなかったけど、その7人が中心となって、この西中のトイレを変えて行けたらいいなと思いました。次は家の近くにある公園のトイレを掃除して、自分の住んでいる地域をきれいにしていきたいです。次は2学期の大掃除の時にまたトイレ掃除をしたいです。本当にありがとうございました。

○岩屋中学校2年生

トイレ掃除をしてはじめて楽しいと思いました。ぼくがしたところは和室のトイレで、最初はきたないなと思ったけど、やっている则だんだん楽しくなってきた。きたないと思うことがなくなってきた。それに、トイレ掃除の道具がいっぱいあって、どれを使うか迷った。いちばん好きな道具はたわしだった。

これですこしは心がきれいになったと思う。あとまたトイレ掃除がしたい。

○西浦上中学校 教諭 永田武靖

「気づいた人の責任」 …梅元健二さんが言われた、まさにその言葉が、私が鍵山相談役や大谷育弘先生のお姿から感じたことでした。

今年の8月2日、いつも学びをいただく側にいた私に、大谷先生が「鍵山相談役は1人の100歩より100人の1歩を喜んでくださります。1歩を踏み出す人になりませんか。」と声をかけてくださいました。鍵山先生とのご縁をいただいて5年…学びをいただくばかりで、自ら動けていない自分に疑問を感じていた私は、その言葉で長崎便教会の立ち上げを決意しました。そして本日、第1回長崎便教会を開催することができました。

私は今日、リーダーとはどうあるべきかという視点で勉強会に参加させていただきました。腹をくくったつもりで長崎便教会を立ち上げたはずでしたが、いざ始まると、何をどう進めえてよいかわからず、長崎掃除に学ぶ会の梅元健二さんにすべてをお任せしてしまう事態となってしまいました。参加人数の把握・人数の割り振り・現場トイレの事前見学・タイムスケジュールの組み方・道具の手配…事前にできること、しておかなければならないことがたくさんあることに気づかされました。今までは、ただ会に参加して、担当の場所を掃除するだけでよかったわけですが、世話人になると、事前の準備や会をスムーズ

な運営に導く大変さに気づくことができました。次回からは梅元さんの力に頼らなくても、本日のような学びの深い便教会を実施できるように今日の課題を改善して参ります。今日のように素晴らしい雰囲気、学びの深い便教会を実施するためには、リーダーの在り方が大切だと学びました。今回は梅元さんの段取り力と人間力によって成功しましたが、次回からはその役割を自分が果たさなければならないという覚悟を持たなければなりません。頑張ります！

また、本日は教師のための便教会ということで、教員6人で行う予定でしたが、話を聞きつけた本校の生徒や卒業生・他校生が8名も参加してくださいました。中には教職を目指している生徒が2名、警察官を目指している生徒などもいて、大人顔負けの掃除と、気付きを得て、最後まで楽しみながら掃除をやり抜いてくれました。今後、この生徒たちの心にまかれた種がどう育っていくかが楽しみでなりません。

「やった者にしか見えない景色がある」と梅元さんはおっしゃいましたが、まさにその“景色”を、長崎の教員の方々や子どもたちに見せる機会を提供できる人になりたいと思います。1人の100歩より100人の1歩。鍵山相談役をはじめ、今まで私を導いて下さった方々にとって、私が“1歩を歩き出した人”だと認められるように、今後も研鑽を積んで参ります。最後に、我が中学校ながら、会場を提供していただいた西浦上中学校校長の佐藤一道先生に御礼を申し上げます。ありがとうございました。